

平成30年度（第44回）関西ジュニアゴルフ選手権競技（予選）

◇とき 平成30年7月17日（火）、18日（水）、19日（木）

主催 一般社団法人関西ゴルフ連盟

◇ところ ダンロップゴルフコース

関西高等学校ゴルフ連盟

スポーツニッポン新聞社

ローカルルール

- アウトオブバウンズの境界は白杭をもって標示する。
- 修理地は青杭または白線をもってその限界を標示する。線と杭が併用されている場合は線がその限界を標示する。
- ラテラル・ウォーターハザードは赤杭または赤線をもってその限界を標示する。線と杭が併用されている場合は線がその限界を標示する。
- 第3番、13番、15番、16番、17番ホールで球がラテラル・ウォーターハザード内にあるか、あることがほぼ確実な場合、プレーヤーは次のいずれかの処置をとることができる。
 - 規則26-1に基づく処置
 - 1打の罰のもとに球を指定ドロップ区域（赤黄マーク）にドロップ
- 電磁誘導カート用の2本のレールは、その2本のレールの全幅をもって1つのカート道路とみなす。
- 上記5を含む全てのカート道路の中や上に球がある場合、またはカート道路が競技者のスタンスや意図するスイングの区域の妨げとなる場合には、競技者は規則24-2bによる救済を受けなければならない。このローカルルールの違反の罰は2打。
- 人工の表面を持つ道路に接した排水溝は、その道路の一部とみなす。
- 「立ち入り禁止」の標示のある目的外グリーンは、プレー禁止の修理地である。プレーヤーの球がその区域にある場合や、その区域がプレーヤーのスタンスや意図するスイングの区域の障害となる場合には、プレーヤーは規則25-1による救済を受けなければならない。このローカルルールの違反の罰は2打。
- プレーヤーの球がパッティンググリーン上にある場合、その球やボールマーカーがプレーヤーや携帯品によって偶然に動かされても罰はない。その球やボールマーカーは規則18-2、20-1に規定されている通りにリプレースされなければならない。このローカルルールはプレーヤーの球やボールマーカーがパッティンググリーン上にあり、いかなる動きも偶然である場合にだけ適用する。
注：パッティンググリーン上のプレーヤーの球が風、水あるいは重力などの他の自然現象の結果として動かされたものと判断された場合、その球はその新しい位置からあるがままの状態プレーされなければならない。そのような状況で動かされたボールマーカーはリプレースされることになる。
- どのホールであっても、競技者がスコアカードを提出する前には罰を受けていたことを知らずに1打または複数の罰打を含めなかったために、真実より少ないスコアを提出していた場合、その競技者は競技失格とはならない。このような状況では、その競技者は該当する規則に規定されている罰を受けるが、規則6-6dに違反したことに対する追加の罰はない。該当する罰が競技失格である場合にはこの例外は適用しない。

競技の条件

- ゴルフ規則
日本ゴルフ協会ゴルフ規則および本競技ローカルルールを適用する。
- 競技委員会の裁定
競技委員会は競技の条件を修正する権限を有し、すべての事柄について、この委員会の裁定は最終である。
- クラブと球の規格
 - 『適合ドライバーヘッドリストの条件・規則付I(B)1a』を適用する。
 - 『2010年1月1日施行の溝とパンチマークの規格に適合するクラブの使用を求める競技の条件』（裁定4-1/1）を適用する。
 - 『公認球リストの条件・規則付I(B)1b』を適用する。
- 競技終了時点
本予選競技は、委員会の作成した成績表が掲示された時点をもって終了したものと見なす。
- ホールとホールの間での練習禁止
『規則付I(B)5b』を適用する。
- プレーの中断と再開
 - プレーの中断（落雷などの危険を伴わない気象状況）については、規則6-8b、c、dに従って処理すること。
 - 険悪な気象状態にあるため、委員会の決定によりプレーが中断となった場合、同じ組の競技者全員がホールとホールの間に行ったときは、各競技者は委員会よりプレー再開の指示が出るまでプレーを再開してはならない。1ホールのプレーの途中であった時は、各競技者はすぐにプレーを中断しなければならず、その後、委員会よりプレー再開の指示が出るまで、プレーを再開してはならない。競技者がすぐにプレーを中断しなかった時は、規則33-7に決められているような、罰を免除する正当な事情がなければ、その競技者は競技失格とする。
この条件の違反の罰は競技失格（規則6-8b注）。
 - プレーの中断と再開の合図について
通常のプレー中断：アナウンスにより通報する。
険悪な気象状況による即時中断：断続的にサイレンを鳴らして通報する。
プレーの再開：1回の長いサイレンを鳴らして通報する。
- 移動
委員会が別途認めた場合を除き、競技者は正規のラウンド中、いかなる移動用の機器にも乗ってはならない。この条件の違反の罰は『規則付I(B)8移動』を適用する。
- キャディー
正規のラウンド中、競技者のキャディー使用を禁止する。この条件の違反の罰は『規則付I(B)2』を適用する。
- 使用ティーマーカー
男子は青色、女子は白色とする。

注意事項

- 競技の条件およびローカルルールに追加・変更のあるときは、クラブハウス所定の位置に掲示する。
 - スタート時刻30分前には大会受付とコースフロント受付を済ませ、スタート時刻15分前には必ずティーインググラウンド周辺で待機すること。
 - ラウンド中、競技の条件、ルールブック、目土袋は必ず携帯すること。
 - プレーは迅速に行わねばならない。特に先行組との間隔を不当にあけないよう注意のこと。プレーの不当な遅延は、規則6-7により罰せられることがある。
 - 9ホール終了後、後半のスタート時間をキャディーマスター室にて確認すること。
 - グリーン上にできたボールマークは必ず修復すること。
 - ラウンド中、競技者は部外者（保護者、コーチなど）を近づけないよう十分注意すること。これを怠ると、規則8により罰せられることがある。
 - 打球練習場はスタート前に限り使用できる。1人40球（300円）を限度とする。9ホール終了後の打球練習は禁止する。フロントでプリペイドカードを受け取り、練習場でボールと交換すること。練習場では指定球以外のボールは使用しないこと。
 - コース内では携帯電話、電子機器の持ち込みおよび使用を禁止する。
 - 競技中の服装は日本高等学校ゴルフ連盟ユニフォーム規定（<http://nihon-kougoren.jp/img/renmei/uniform.pdf>）およびユニフォーム規定等に関する確認事項（http://nihon-kougoren.jp/img/renmei/uniform_kakunin.pdf）を守ること。
- ※フォアキャディーが使用する旗についての意味
白旗：インバウンズまたは先行組がいないのでプレー可 赤旗：先行組がいるのでプレー不可
青旗：OBまたは紛失の恐れがあり、判断できない場合

競技委員長